

## 支承防食工法

# 透ける沓

支承防食工法（透ける沓）は、塗装などの表面被覆で防食効果が期待できない狭隘部にある鋼製支承を「塗れないものは包む」という発想から生まれた新しい防食工法です。

透明型枠が設置でき、型枠内を透明弾性樹脂を充填することで腐食因子を完全遮断することができ、鋼製支承の腐食進行を止めることができます。

NETIS登録番号  
TH-120011-A



施工後



施工前

透明弾性樹脂で  
腐食因子を  
完全遮断、  
長期防食を  
可能としました

### 特長

- 1. 素地調整簡素化**  
素地調整3種程度で施工可能なため、施工性が向上します。
- 2. 施工環境に左右されない施工性**  
ブラスト処理を必要とせず、作業粉塵を軽減できます。大型機材を必要とせず工事制約も緩和されます。
- 3. 目視確認が容易**  
透明弾性樹脂は透明性を維持するため、点検調査時における目視確認が容易になります。
- 4. 支承機能を維持**  
柔らかい透明弾性樹脂で透明型枠内を充填するため、移動・回転等の支承機能を阻害しません。

### 主な用途

- 表面被覆の下地処理が確実に行えない鋼製支承
- 支承高が低い鋼製支承
- 耐震装置により作業空間が取れない鋼製支承
- ブラスト作業に伴う工事制約がある鋼製支承
- 腐食を許容しない部位、部材

### 施工手順

工程	処理方法及び使用方法
1. 素地調整	手工具及び動力工具による3種ケレン程度で脆弱錆、脆弱塗膜、油脂、その他異物質を除去する。
2. 下地処理材塗布	鋼材やコンクリートに下地処理材を塗布し、所定時間乾燥させる。
3. 透明型枠設置	透明型枠を所定の寸法に加工、設置する。型枠設置後、樹脂が漏れないよう目止処理をする。
4. 樹脂充填	攪拌機を用いて所定の割合で混合し、型枠内に流し込み、硬化するまで塵、埃、水分が混入しないように養生する。
5. 完成	透明弾性樹脂の硬化確認後、露出した表面に透明フィルムを貼付し完成となる。

# 支承防食工法（透ける沓）

## 透明弾性樹脂形態

品名	用途	外観	配合比(重量比)
スケルシューSi (A)	主剤	無色透明油状	100
スケルシューSi (B)	硬化剤	無色透明油状	100

- 透明弾性樹脂は(A)剤、(B)剤の2成分を混合することで硬化する液状ポッティング材です。
- 硬化後は透明で内部視認性の良い弾性体となります。
- 硬化前は低粘度であるため、防食母材の細部まで充填可能です。

## 一般特性

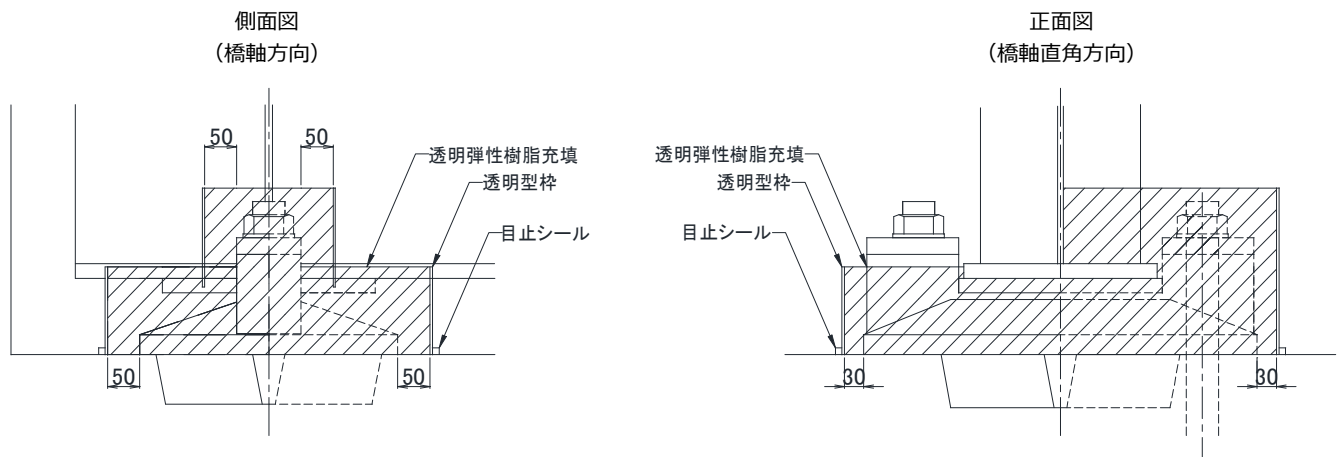
項目	条件・単位	特性値	参考規格
作業可能時間(25℃)h	時間	4	
セルフレベリング性	目視	良好	
タックフリータイム(25℃)h	時間	4	
外観	目視	無色透明	
比重	t/m <sup>3</sup>	0.98	JISK6249
硬さ	針入度	75	JISK6301
最大荷重時の伸び	%	500	JISA1439
引張圧縮繰返し疲労試験	±30%、6000回後	異常なし	JISA1439
超促進耐候性試験	400時間	良好	

※25℃50%RH×24h+5℃ 1h

### 【使用時の注意】

- 被着体は、ゴミや埃を取り除き、油分等は溶剤などでふき取り十分乾燥させてください。
- 水、硫黄、窒素酸化物、有機金属塩、リン化合物等を含む表面では硬化しないことがありますので、予備試験を行なってください（有機ゴム、フラックス、アミン硬化エポキシ樹脂、ワックス類、縮合型シリコンゴム等は特に注意してください）。
- 取扱い時には、必要に応じて保護眼鏡および保護手袋等の保護用具を着用してください。
- 換気の悪い場所では、送排気装置等を使用し換気をよくしてご使用してください。
- 火気のある場所では使用しないでください。

## 防食施工計画例



橋梁LCC改革をリードする

## 橋端改良技術協会

〒 981- 3117  
宮城県仙台市泉区市名坂字野蔵19-3  
株式会社丸本工業所内  
TEL & FAX : 022-371-9803  
URL : <http://www.mcbm.net>  
Mail : [info@mcbm.net](mailto:info@mcbm.net)

●会員

